

# 兵庫県のに漁場環境情報 (東播海域 2号)

2021年10月27日発行

兵庫のに研究所

海域全域で大型珪藻コシノディスカスが確認されており、発生量は前回(10/19)調査と比較しやや減少していますが、依然として多い状況です。窒素は、大阪湾水の影響が見られる海域東部で1~2  $\mu\text{g at/L}$ 台、それ以外の海域では地先で2~4  $\mu\text{g at/L}$ 、沖筋で概ね1~2  $\mu\text{g at/L}$ 台でした。陸水の影響が見られる地点では特異的に高い値を示しています。

(水温) 漁場内平均21.5°C。平年より0.6°C低い。

(塩分) 平均31.09psu。前回(31.10)とほぼ同じ。

(栄養塩、珪藻) コシノディスカスは海水1Lあたり、地先で1200~1800細胞(前回値:1500~2000細胞)、沖筋で1000細胞程度(前回値1000~1500細胞)見られた。大阪湾水の影響が見られる海域東部の明石海峡部から八木鋼管にかけては500~1000細胞であった。西播の伊保・白浜漁場では地先で2000細胞程度、沖筋で1000細胞程度であった。窒素は、陸水の影響が見られる別府・魚住地先で特異的に高い値を示した。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	23.6	21.5	22.1	21.3
窒素	2.6	2.3	5.7	1.1
リン	0.49	0.31	0.62	0.38

(10/19)

※窒素の平均は別府を除く

(10/29)

### 西播地先

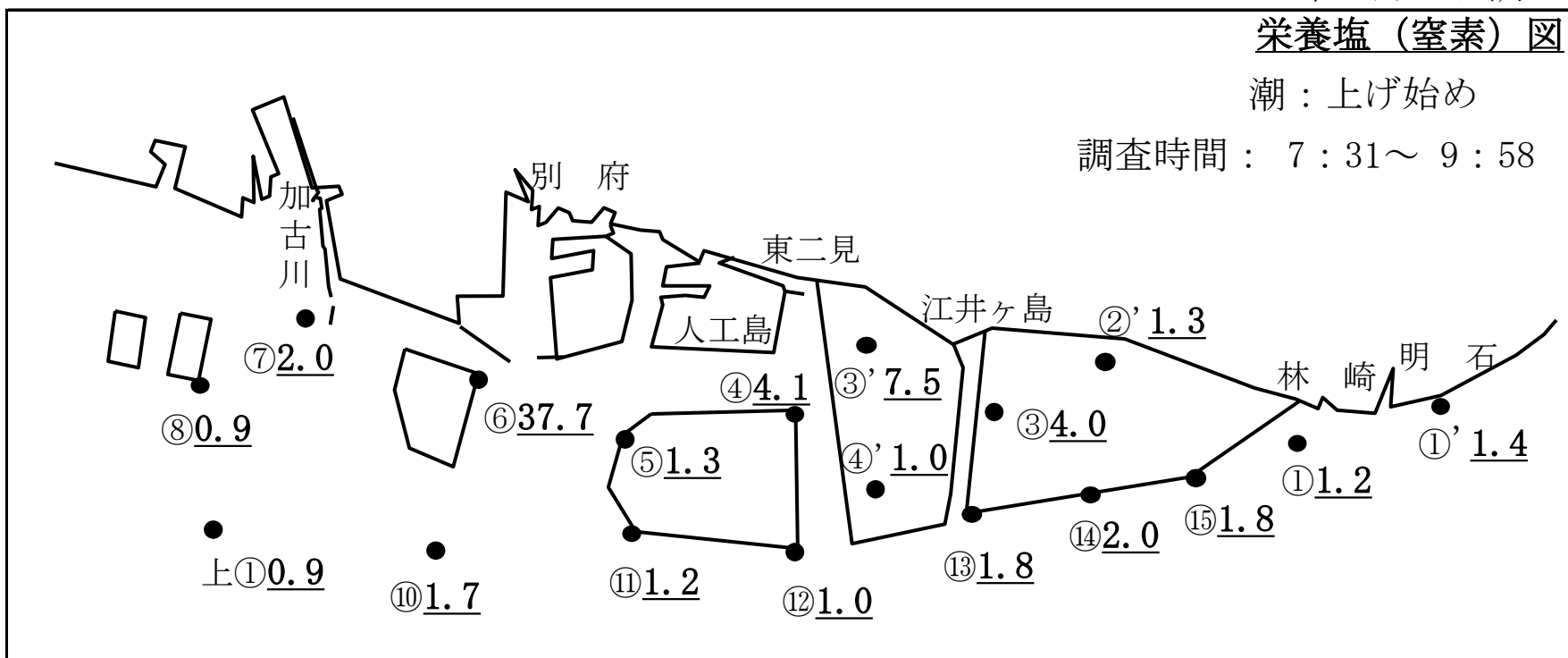
伊保地	水温	21.5°C	伊保沖	水温	21.7°C
	窒素	1.2		窒素	0.9
	リン	0.25		リン	0.22
白浜地	水温	21.2°C	白浜沖	水温	21.5°C
	窒素	1.3		窒素	0.8
	リン	0.32		リン	0.26

2021年10月27日調査

### 栄養塩(窒素) 図

潮: 上げ始め

調査時間: 7:31~9:58



### 水温図

